JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 速報

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1486 2025年6月12日発行

Medicines Safety Update (2025.6.3)

Australian Government : Department of Health/Therapeutic Goods Administration (TGA)

GLP-1 受容体作動薬およびデュアル GIP/GLP-1 受容体作動薬を含む医薬品；麻酔中または深い鎮静中のリスクについて新たな警告が追加された： Glucagon-like peptide-1 (GLP-1) 受容体作動薬およびデュアル glucose-dependent insulintropic polypeptide (GIP) /GLP-1 受容体作動薬クラスの全ての医薬品は、食物の胃の通過（胃排出）を遅延させる可能性があることが知られている。通常の事前の絶食期間では胃を空にするのに十分でない可能性があり、全身麻酔中または深い鎮静中の患者に対して潜在的なリスクをもたらす。豪 TGA は、全身麻酔または深い鎮静中に胃内容物を誤って吸引するリスク（肺誤嚥）に関する警告について、これらすべての医薬品の製品情報（PI）の Section 4.4（特別な警告と使用上の注意）、および消費者医薬品情報（CMI）の改訂を要求した。オーストラリアにおいて現在販売されている GLP-1 受容体作動薬は、Ozempic (semaglutide)、Trulicity (dulaglutide)、Victoza (liraglutide)、Saxenda (liraglutide)、Wegovy (semaglutide)、デュアル GIP/GLP-1 受容体作動薬は、Mounjaro (tirzepatide) である。2025 年 5 月 14 日における TGA の Database of Adverse Event Notification (DAEN) の検索により、GLP-1 受容体作動薬およびデュアル GIP/GLP-1 受容体作動薬に関して、semaglutide による誤嚥 7 例および誤嚥性肺炎 1 例、liraglutide による誤嚥 1 例および誤嚥性肺炎 1 件、dulaglutide による誤嚥性肺炎 1 例が特定された（全ての症例で単一の被疑薬が報告された）ことなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館／文献複写サービスよりお申込みください。

(<https://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)